

経営比較分析表（令和3年度決算）

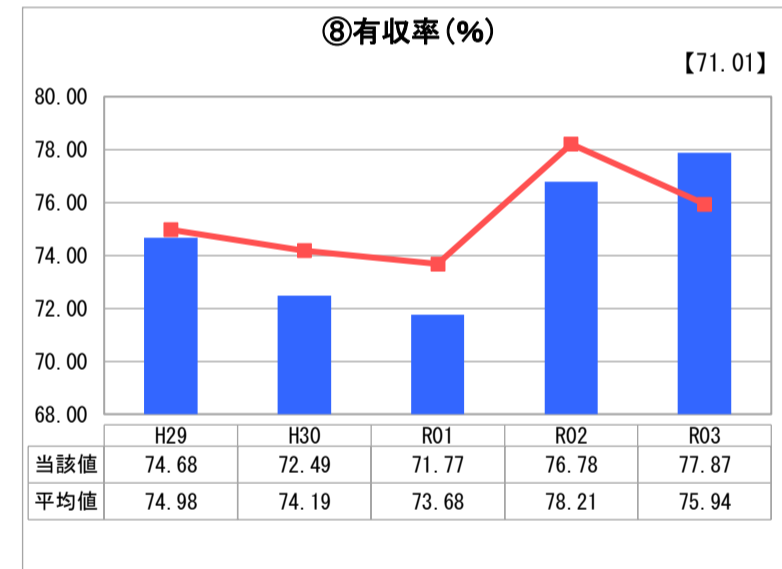
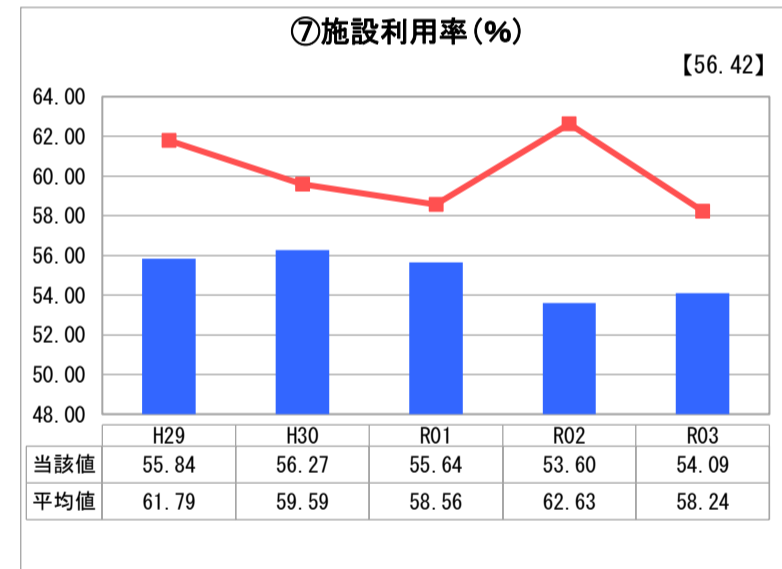
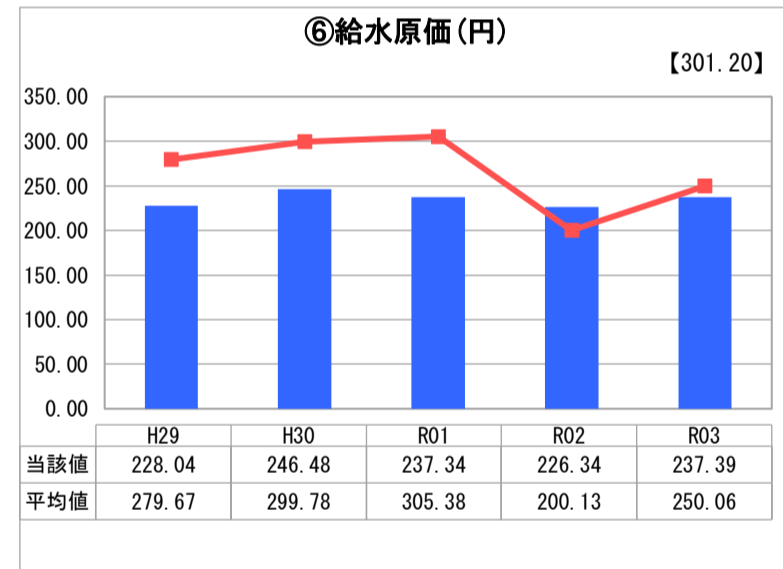
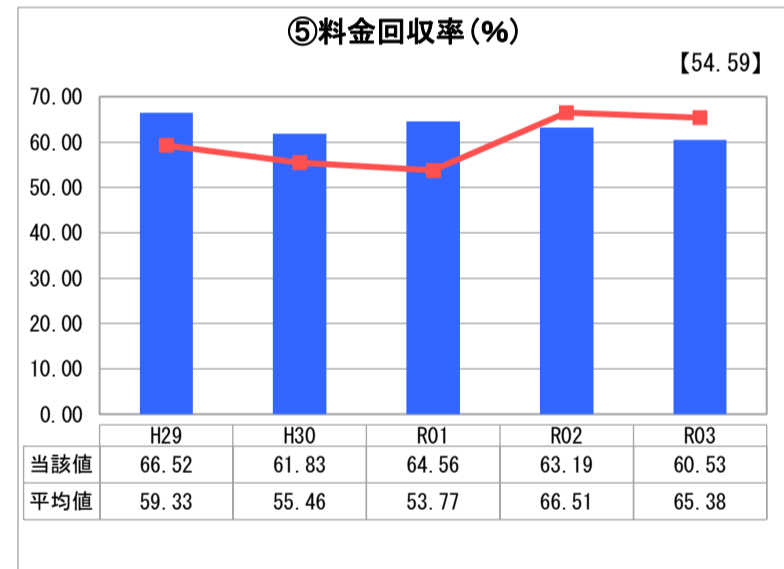
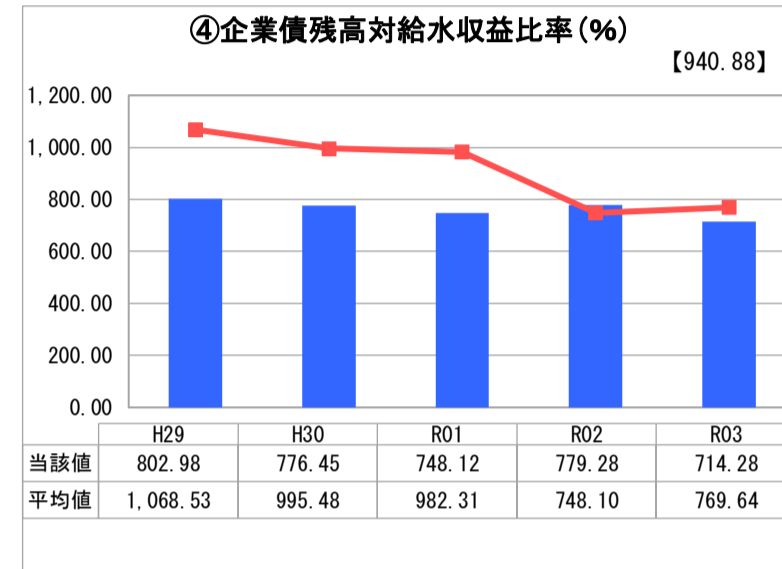
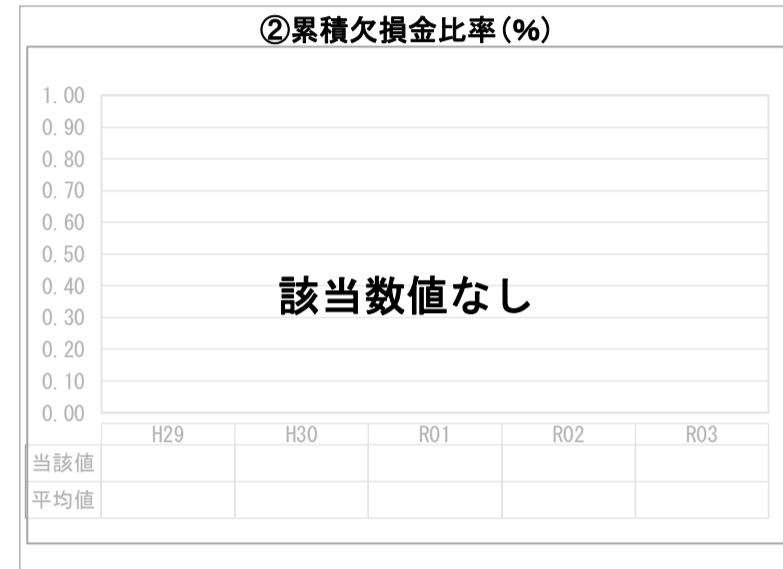
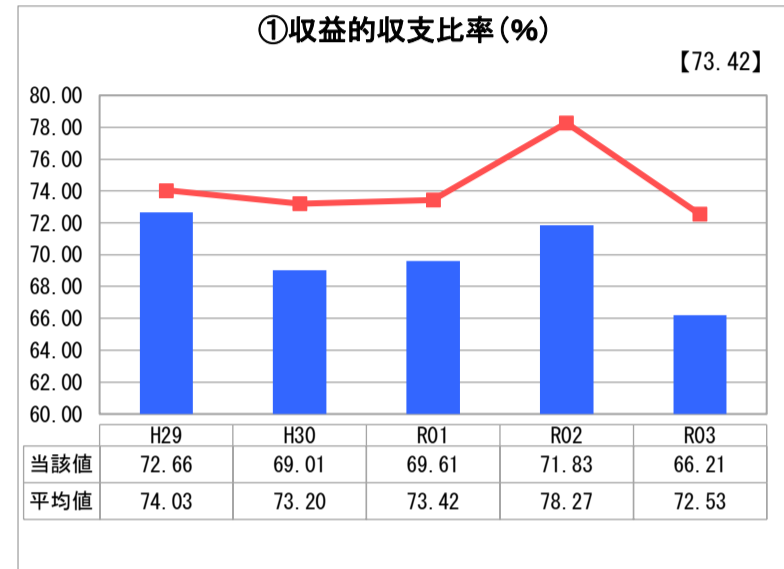
福井県 越前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	52.47	2,860	

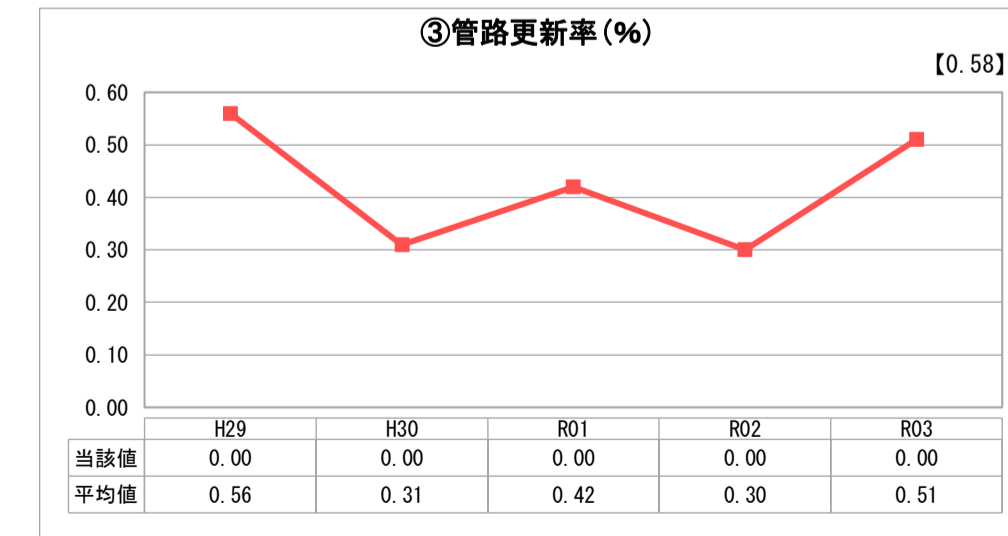
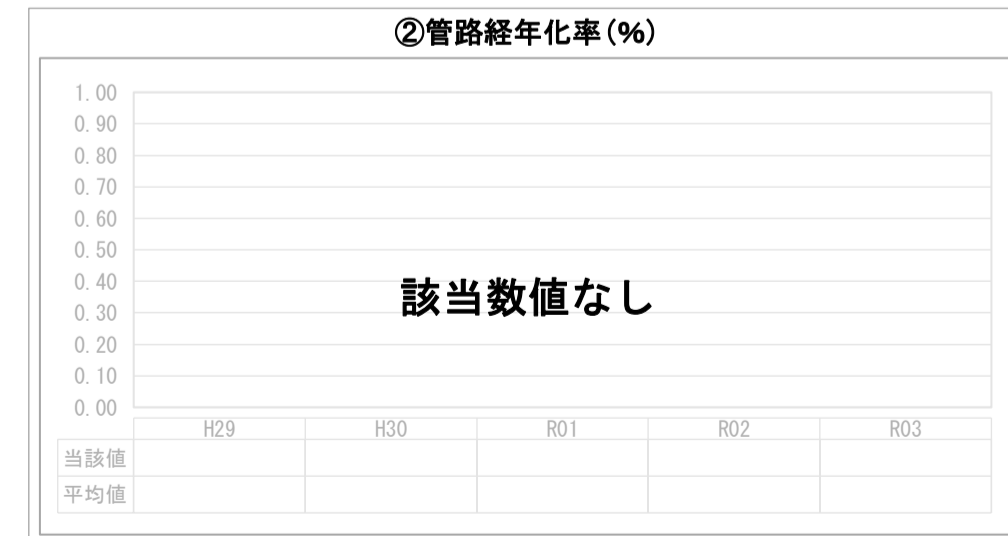
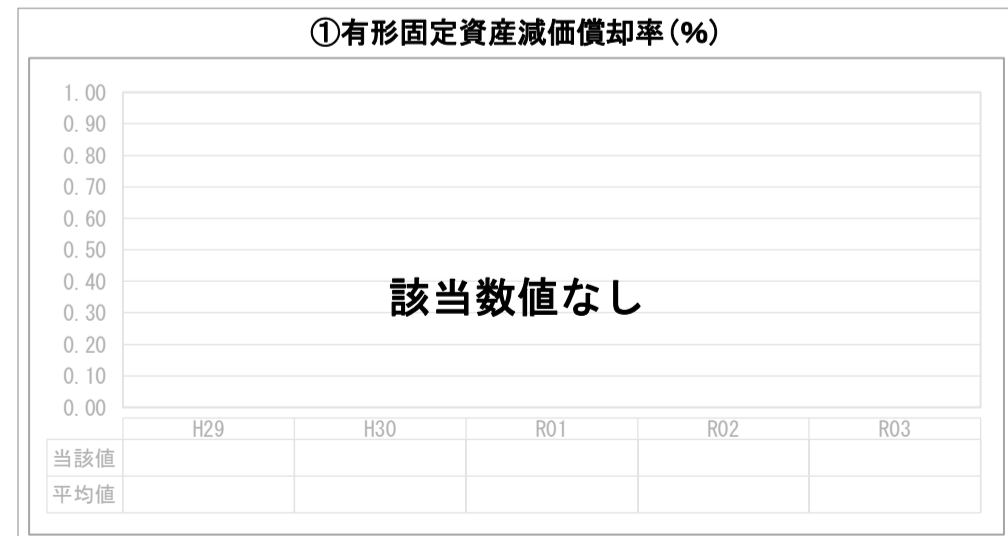
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,581	153.15	134.38
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,737	7.90	1,359.11

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、地方債元利償還金の財源を一般会計負担金に依存しており、令和3年度は66%と類似団体平均より6%下回っており、⑤料金回収率についても令和2年度より類似団体と平均値を下回っている。

また、④企業債残高対給水収益比率から見ると、当町の簡易水道区域に関する施設整備が早かったことや、区域の一部を平成23年に上水道事業区域へ編入したことで、企業債の残高が減少している。しかし、必要な更新については、継続的に実施していく必要がある。

⑥給水原価については、令和2年度は類似団体平均を上回ったが、令和3年度には下回っている。しかし、⑥給水原価自体は、前年度を上回っており、施設の老朽化は加速しつつあることから、引き続き適切な更新を実施していく必要がある。

⑦施設利用率については、令和2年度に類似団体の平均を大きく下回っていたが、令和3年度は、僅かに上昇した。施設の更新を図り、効率性を改善する必要がある。

⑧有収率から見ると、令和2年度と比較して上昇しており、類似団体平均よりも2%上回った。今後も漏水調査結果に基づき管路修繕を実施していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

当町では、③管路更新率から見ると、類似団体平均を大きく下回り、過去5年間では、平成28年のみの更新となっている。平成17年の町村合併から16年が経過しているが、旧4町村の老朽化した施設が多く実在しており、管路についても、布設年度すら完全には把握できない状態である。また、⑧有収率は令和2年度より上昇しているが、今後も漏水調査結果に基づき管路修繕を実施していく必要がある。

全体総括

当町の給水率は99%を超えているが、平成17年町村合併から16年が経過した現在、施設の老朽化や人口の減少等を踏まえ、自主財源の確保や効率の良い事業運営が必要とされている。

令和5年度に策定する水道事業ビジョンに基づき、計画的に簡易水道事業区域施設の統廃合や、料金改定等の施策を実施していく必要がある。また、健全な水道事業の継続のため公営企業会計へ移行予定(令和6年度)である。